

## 第58回地盤工学研究発表会にて当社社員が論文発表しました

7月11日(火)、第58回地盤工学研究発表会にて、当社地盤コンサルティング事業部の高崎汐織が「トンネル施工による池湧水への影響に関する広域浸透流解析」と題して論文発表しました。

本論文は、大分県臼杵市を通る臼杵トンネル北側に新設中のトンネルにおいて、建設地周辺に現存している溜池の湧水量への影響について、広域浸透流解析を用いて検討したものです。(広域浸透流解析とは、地下水の挙動について予測するもので、トンネルなどの土木工事が地下水の流れにどのように影響を及ぼすかを、山間部全体などの広範囲で予測解析することができる技術です。)

論文発表では、現場での調査情報が少なく限られたデータでモデル作成や妥当性検討を行ったことや、これまでにあまり述べられた事例が少なかった山岳地域の初期水位設定手法についても着目した発表がなされ、地盤工学に携わる多くの技術者から関心が寄せられました。

今後も当社は、保有技術のさらなる向上・発展を目指すとともに、地盤工学の研究に貢献してまいります。

以上



発表中の様子(高崎)

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL:<https://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 吉田、太田